

学校関係者評価委員会報告書

令和3年3月8日

札幌歯科学院専門学校

札幌歯科学院専門学校学校関係者評価委員会を開催し、学校関係者評価委員よりいただいた評価結果について、下記のとおり報告させていただきます。
各委員よりいただいた評価結果を踏まえ、本学院の教育活動、社会・地域貢献等の学校運営全般について、更なる推進と改善を図って参ります。

一般社団法人札幌歯科医師会立札幌歯科学院専門学校学校関係者評価委員会

開催日時	令和3年3月1日（月）18：54～19:57
開催場所	札幌会館 2階 理事会室
出席者	学校関係者評価委員 房川 慈裕 委員長（一般社団法人北海道歯科医師会理事） 松岡 円 委員（一般社団法人北海道歯科衛生士会札幌支部支部長） 八重樫新一 委員（公益社団法人北海道歯科技工士会相談役） 天道 紀子 委員（札幌歯科学院専門学校同窓会会長）
	札幌歯科学院専門学校 山田 尚 運営委員長 尾崎 勝巳 学院長 杉本 祐子 副学院長 濱 秀樹 総務部長 市川 智恵 歯科衛生士科教務主任代行 村上 珠緒 歯科技工士科教務主任 平田 学 事務長 木本 勝彦 次長 長土居香織 係員
欠席者	諸留 裕 委員（一般社団法人札幌歯科医師会副会長）

大項目	評価項目		自己点検評価 (とても良い4 良い3 やや悪い2 悪い1)	自己点検評価内容	関係者評価
教育理念・目的	1	学校の理念,目的,育成人材像,本校の特色を生かした将来構想が定められ,生徒・関係業界等へ周知されているか	3. 6	本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき, 歯科医師会立校であることや歯科衛生士科・歯科技工士科を併設している等の本学院の特徴を生かした両科による合同授業, 歯科医療界の需要に即した各授業内容の工夫により, 歯科医療従事者の一員として地域歯科医療に貢献できる即戦力を目指す教育を実施している. 保護者・学生に対して合格者説明会, 入学時のオリエンテーションにて説明する他, 学校案内や学生便覧を配布することで周知している.	<ul style="list-style-type: none"> • 教育理念、目的に沿った運営や歯科医師会立校として、歯科衛生士科、歯科技工士科を併設している特色を生かした教育を引き続き行ってもらいたい。また、時代に合った人材育成のための情報交換等は積極的に行っていただきたい。
	2	各学科の教育目標, 人材育成像は、学科に対応する業界の需要に向けて方向づけられているか	3. 5	歯科医師会立校として、現役歯科医師の指導により対応している他, 即戦力となる人材を育成するためのカリキュラムを組んでいる。 日進月歩な歯科医療の需要に対応するため、各関係団体との連携情報収集などにより, 時代に合った人材育成のための情報収集を行っている。	
学校運営	3	目的に沿った運営方針, 事業計画, 体制等が策定されているか	3. 8	本学院の運営方針、事業計画等については, 運営委員会、教職員会等の各委員会にて審議、策定されており, その後、法人の総会において承認されている。	<ul style="list-style-type: none"> • 歯科技工士科についてより高度な教育を受けられる環境をつくり、即戦力となる人材を輩出するため、修業年限等について検討して欲しい。 • 情報公開などコンプライアンス体制は、ホームページ等において情報公開に努めているが、教育活動など地域社会に対し積極的に発信して欲しい。
	4	情報システム化等による業務の効率化や情報公開が適切になされているか	3. 3	一部文書の保管をデータ化すること等により, 迅速に共有・閲覧する等の整備を整え, 時代に即したものとなっており, 充実化に努めていることがわかる. 更なる効率化を図るための改善が必要であると考えている. また、ホームページをリニューアルすることや本学院のし, 学校情報や教育活動等について情報公開に努めている。	
教育活動	5	教育理念に沿った教育課程の編成, 実施方針が策定されているか。	3. 5	教育理念に基づいたカリキュラムを編成しているが、両科とも急速に技術発展を遂げる歯科医療現場において就職後即戦力となり得る人材を養成するため、講座運営（シラバス、教材、運営体制等）の見直しを年に一度行っている。医療人として社会貢献する人材育成のため、一般常識まで培うことが出来る教育方法を実施している。また、即戦力となる人材を育成するため、臨床実習施設へ協力・連携を図り、臨床実習を重視している。今後、外部評価等により、カリキュラムの編成へ対外的な意見を反映し、教育課程編成については見直しをすることも必要だと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年より実施している学校関係者評価委員会による評価結果、意見を反映させ、より良い教育課程編成等に努めていただきたい。 • 両科共に離職の要因等、就職後の現状把握や復職支援等に努めていただき、早期退職を防ぐための教育、引き続き指導等をお願いしたい。 • 昨今の報告状況より女性の歯科技工士入学者が増加していることから、今後、女性歯科技工士が増えていくことを踏まえ、就職の受入れ先等への対応をしていただきたい。
	6	職員の能力開発のための研修などが行われているか。	3. 3	外部研修の参加費用については学校で負担し, 年に数回、全国歯科衛生士教育協議会・全国歯科技工士教育協議会が主催する研修会をはじめとする各種研修会へ出向させ, 教員の資質向上に努めている. また, FD・SD 協議会へ加盟し, 各種研修会へ参加できる体制を整えている。 年2回常勤講師に自らの目標を設定させ、当該目標の設定水準・目標達成度等を基礎として総合的に評価を行っている。	

教育環境	7	施設,設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3. 3	<p>本学院会館増改築から37年経ち,設備面の劣化等が見込まれるため,会議等にて検討している.</p> <p>歯科衛生士科基礎実習室には各自の机にモニター画面付きのマネキン診療台が設置されており,実習において学生が学びやすいような環境整備に取り組んでいる.また,歯科技工士科実習室についてもCAD/CAMシステムも完備し,最新の学習が出来るよう技工機も新調しており,必要とされる環境整備に取り組んでいる.</p>	<p>・ 今後はコロナ禍の状況においても、学生が十分な教育を受けることができる教育環境整備を必要の都度図るよう努めてもらいたい。</p>
学生募集	8	高等学校等の機関へ対する情報提供の取組が行われているか	3. 9	<p>副学院長・教職員が連携して広報活動を行っており,資料請求や学校訪問等下記のとおり随時説明を行っている.今後も高校訪問等を通して信頼関係を深めている.</p> <p>(1)オープンキャンパス 年間 14 回実施・参加者 317 人 年間開催が 15 回の予定であったが,新型コロナウイルス感染症の影響で 15 回の開催であったが,参加者を昨年よりさらに増やすことが出来た,</p> <p>(2)進学相談会 36 回参加 進学相談会の参加者は例年減少しているが,学生と直接話すことが出来る貴重な機会である.参加していた進学相談会の時期を一部見直し,春の相談会に力を入れ,年間参加回数を増やしている.校内ガイダンス等,学生がより多く出席する相談会へ参加し,多くの生徒へ面談したいと考えている.</p>	<p>・ 少子化等、学生確保が困難な状況において、令和元年度生の両科併せた定員充足率が 84.2%と前年度の 69%と比して改善したのは、地道な募集活動の結果であると推察する。高校における歯科衛生士と歯科技工士の職業認知について今後も積極的な周知をおこなっていただきたい。今後も少子化等の関係から学生募集は困難と思うが、従前にも増した積極的な活動を行ってもらいたい。</p>
	9	資格取得,就職状況等の教育成果は正確に伝えられているか	3. 5	<p>(3)職業体験学習(中学校) 参加校 10 校・参加者 123 名 歯科衛生士・歯科技工士の職業の周知活動の一環として中学生向けに職業体験を実施している.各回中学校教諭・学生ともに楽しんで職業について知っていただけているため,今後の募集活動へ繋がるものと期待している.</p> <p>(4)高等学校訪問 277 回実施(うち学生同行 26 校)</p> <p>オープンキャンパスや外部への広報誌等において記載し,正確に周知している.今後最新の情報をよりわかりやすく正確に伝える工夫が必要である.</p>	
財務	10	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3. 0	<p>今年度入学生については定員を 8 割満たす事ができたが,数年前より入学者数が減少しており,財政基盤はやや不安定になってきている.そのため,学生募集活動の充実化を図り,退学希望者の減少・国家試験合格率の向上・支出等の見直しを行い,財務基盤の安定化に努める必要がある.</p>	<p>・ 過去と比して、入学者数が増加傾向にあり、財務の改善（経常増減額のマイナス額減少）が見受けられるが、少子化の現状を踏まえると予断を許さない状況に変わりはない。引き続き、学生募集、経費削減策に努めてもらいたい。</p>
	11	予算,収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3. 8	<p>予算,収支計画については,審議項目が運営規程に明記されており,教職員会・運営委員会・理事会を通し, 予算,収支計画が策定される.法人の総会においても承認されている.</p>	

法令等の遵守	12	法令,専修学校基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3. 8	歯科衛生士・歯科技工士学校養成所指定規則に従い,届出等について,必要事項を掌握し,適切に対応し,法令順守に努めているが,それに係る役員,教職員の研修の機会を設けることも必要であるとする。	・北海道の指導調査結果について、法令に遵守した運営であるとの評価であった旨、報告を受けたが、引き続き、法令に遵守した学校運営を行っていただきたい。
	13	個人情報について保護対策が取られているか	3. 7	「札幌歯科学院専門学校における個人情報の取扱いについて」学院長が定めた規則に従い,本学院が保有する個人情報について管理者・管理方法・管理場所が明確となっており,学生等についても「個人情報に関する同意書・誓約書」を提出してもらっている。 実習施設との間で診療内容や個人情報の保護に関する誓約書を交わしており,学生にも十分注意をしている。昨年度において違反する学生は無かった。	
社会・地域貢献	14	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献をおこなっているか	3. 7	北海道私立専修学校各種学校連合会主催「次世代人材職業体験推進事業職業体験講座」等の職業体験学習活動へ積極的に参画し、中学生に向けた歯科衛生士と歯科技工士の職業体験授業を行い、職業の認知・向上に努めている。 (参加校 10校 計 123名) 高齢者施設・障害者施設等における臨床実習を通じて市民の口腔衛生維持向上に努めている。 例年6月に開催する「歯と口の健康週間事業」(主催 一般社団法人札幌歯科医師会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道歯科衛生士会札幌支部、札幌歯科技工士会)において、一般市民に対し、歯周病に対する理解を深めていただくとともに子どもたちにはハミガキの大切さを楽しく学んでいただき、口腔衛生に対する意識向上を図るイベントに参画している。	・歯科衛生士の人材バンクにおいて新人の早期離職、復職率の低さが見受けられ、本学院運営母体で未就業歯科衛生士リカバリー事業を実施していることについて例年参加者も減少傾向にあることから、事業の充実と受講生ひとり一人の現状(離職期間、年齢等)に合わせ、就職先へのマッチングまでをサポートするなど検討いただきたい。
	15	生徒、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3. 4	一般社団法人札幌薬剤師会主催”政令指定都市薬剤師会統一社会貢献事業「薬物乱用防止キャンペーン’ひとつの命を大切に in さっぽろ」”に参画し、市民への歯科口腔保健の向上に努めている。	

※「専修学校における学校評価ガイドライン」(文部科学省)を基に作成